

## 「環境共生都市『ながの』の実現」を目指して!

「SDGs未来都市ながのReport」では、環境共生都市「ながの」の実現に向かって共に活動を展開する企業や団体にスポットを当て、各主体の様々な取り組みについて、市民の皆様を紹介し、パートナーシップによるまちづくりを推進していきます。

※「SDGs未来都市」とはSDGsの達成に向けた優れた取組を提案する都市として国(内閣府)が選定するもの。

### 長野市SDGs未来都市計画

#### 【課題】SDGs理解の促進

令和元年東日本台風の被災地として、災害の要因である気候変動への対応、持続可能なまちづくりは、本市の重点課題の一つです。SDGsの視点で環境と経済を両立する新たな取組みを、市民や関係者と共有し、理解を深め、具体的な行動へとつなげていく必要があります。

#### 2030年のあるべき姿

##### 【目指す将来像】

### 環境共生都市 「ながの」の実現

自然の循環と経済の発展を両立させる、長野らしい、世界に誇る「産業」を、持続可能な形で創造又は再構築する。

##### 【目標1】循環型社会の実現

木質及び廃棄物系バイオマス資源を電力、肥料等に活用

##### 【目標2】豊かな自然環境の保全と持続可能な活用

質の高い森林環境の保全、官民一体の森林管理体制

##### 【目標3】脱炭素社会の構築と地域経済への波及

バイオマス、太陽光、小水力など再生可能エネルギー導入

##### 【目標4】連携強化と人づくりの推進

担い手育成、子ども達へSDGs視点での環境・森林教育

##### 【目標5】SDGs理解の促進と情報発信

環境を理念とした長野オリンピックの遺産を次世代へつなぐ

#### 「長野市SDGsフォーラム」を開催しました!

長野市は2021年5月に「SDGs未来都市」に選定され、持続可能な地域づくりを目指しています。未来を担う若い世代と共にSDGsを考えていくために、去る10月16日、長野市芸術館アクトスペースにおいて「長野市SDGsフォーラム」を開催しました。

当日は「私たちにできるSDGs」をテーマに、脳科学者の茂木健一郎氏をはじめとする6名が登壇し、活発な意見交換が行われました。今回はその内容をご紹介します。



茂木健一郎  
(脳科学者)



トラウデン直美  
(モデル・  
環境省サステナビリティ大使)



萩原健司  
(長野市長)

#### Nagano Region SDGs ACTION が公開されました

環境共生都市「ながの」の実現に向けて、長野地域連携中枢都市圏のSDGsに関わるニュースや取り組みを発信していくサイトです。

右記QRコードより簡単にアクセスいただけます。



# 長野市 SDGs フォーラム

## 登壇者(敬称略)

荻原健司(長野市長)

茂木健一郎(脳科学者)

トラウデン直美(モデル・環境省サステナビリティ大使)

青木寛和

(古着屋TRIANGLE)

菊地美希

(長野県立大学)

篠田恭椰

(信州大学大学院総合理工学研究科)

▼note



▼note



▼note



## パネルディスカッション

**茂木** SDGsは本当に素晴らしい、包括的な人類の未来を導く目標です。長野市はSDGs未来都市に選定されているということで、本当に素晴らしいことだと思います。僕は長野に来るたびに、ここに根付いている知恵を感じます。お年寄りが長年、当たり前のようにやっている生活習慣などにSDGsの種があると思います。ぜひ皆さんと荻原市長で、長野市を“世界に価値を発信できるまち”にしていただきたいと思います。

**トラウデン** SDGsは、人それぞれの解釈で良いのではないかと思います。私が思い描いていた「自分と自分の周り愛する」という概念から考えると、長野の皆さんの故郷に対する愛をすごく感じます。特産品だったり、景色だったり、自然環境だったり。自分たちの周りのものをすごく愛していらっしゃるんだという雰囲気長野市全体に漂っていて、そこに魅力を感じます。まずは青木さん、篠田さん、菊地さんに、どんな活動をしているかをお伺いします。

**青木** 私はトライアングルという古着屋を経営しています。多くの古着屋が東京や海外で買い付けてきたものを扱っていますが、うちの服はほとんどが地域の方から寄付していただいたもので、ご高齢の方からの寄付が多いです。



**トラウデン** もともと洋服が好きで始めたのですか？

**青木** そうですね。高校時代から古着を着ることが多くて、今着ているものも古着です。古着が好きになったきっかけは、叔父のおさがりをもらうことが多く、他の人が着ていないところもカッコイイと思ったからです。

**トラウデン** 篠田さん、菊地さんも古着を着る機会はありますか？

**菊地** このズボンはトライアングルさんのものです。イヤリングは祖母のものです。

**篠田** 私のセットアップも古着です。

**トラウデン** 古着の魅力は一点ものだったり、リメイクでさらに自分色にカスタマイズできるところも魅力ですよね。続いて篠田さんにお話を伺います。

**篠田** 私が所属している佐倉研究室では6、7年前から「まち畑プロジェクト」という活動をしています。善光寺の門前は空き家のリノベーションが盛んで、全国的にも街並みが評価されていたのですが、一方で空き地が増え、雑草が生えている状態でした。そこで私たちが地域の方と一緒に畑を区割りして使ったり、建築学生がピザ窯を作ったりして、楽しい空間にしていく取り組みをしています。

**トラウデン** 畑に注目したのは、なぜですか？

**篠田** 佐倉先生が、海外のまち畑の研究をされていて、まちが縮退していく中でも美しい景観が保たれている場所がありました。それがコミュニティガーデンだったことから、長野市でも同じようなことができるのではないかとということで持ち込まれました。

**トラウデン** 地域のコミュニティを作っていくという意味でも素敵な活動だと思います。

**市長** 長野市内に空き家や空き地が増えていますが、それを有効活用することもSDGsだと思います。こういう活動が地域に根付いて、いろいろな方々と交流するのは良いですね。

**トラウデン** 菊地さんはどんな活動をされていますか？



**菊地** 私は長野市にあるR-DEPOTという会社でインターンをしています。SDGsに貢献しているという意識はなくて、いろいろな活動に関わっている中で「それってSDGsだね」と言われて気が付くことが多いです。

**篠田** 佐倉研究室が昨年受賞した「信州SDGsアワード」も、最初は他薦でした。その後自薦でやることになり、初めてSDGsのことを詳しく調べました。やりたいことの延長にSDGsがあったという感じです。

**茂木** SDGsに取り組んでいる人って、精神年齢が成長するんだね。皆さん成熟している。教育にSDGsを取り入れる意味は、彼らのように社会のことや自分のことが分かる若者が育つという効果もあると思います。

**市長** 学生のエネルギーやアイデアを受け止めながら市政に反映させていきます。

**茂木** 古着屋が増えていくとアパレル業界の売上は下がるよね。トラウデンさんはファッション業界をどう考えていますか？

**トラウデン** モデルの仕事をした13歳の頃は何も考えていませんでしたが、高校で環境問題の授業を受けたときからずっと自分の中で矛盾を感じていました。一方で、ファッションは心を豊かにしてくれるものでもあると思うので、自然淘汰されて残るものは残

るし、人々のマインドが変わっていけばそういった産業が残っていくと思います。

**青木** 昔の服は長く着ることを前提に作られていて、大切に着ていたものが多いです。良いものは残っていくと思います。

**トラウデン** 全て「循環」

というキーワードがあると思います。市長は地域の方々と長野市をどのように作り上げていこうと思っていますか。

**市長** 長野市は自然も豊かで木もたくさんあるので、これからの公共施設は長野市産の材木を使ったものや自然環境にやさしいものを増やしていきたいと考えています。篠田さんはどうお考えですか？

**篠田** 森林の循環を考え、規模感を捉えながら木材を活用できたら良いと思います。一方で人口減少で建物が余り空き地も増えているので、そこをどう活かすかに感心があります。

**市長** 門前町の建物がなくなると長野らしさが失われてしまうので、大事にしたいです。

**トラウデン** 若い人が入り込む余地があるのは、長生きするまちに必要だと思います。地域の方や年配の方とのコミュニケーションはどのくらい重視していますか？

**青木** 服を寄付していただく方のほとんどが50代以上で、孫みたいに迎え入れてくれて、若者への期待も感じます。若者がまちを変えていかなくちゃいけないという気持ちになります。

**市長** こういう若い人たちにまちが見放されないように、これからの社会を背負って立つ人たちが仕事をしやすい、暮らしやすいまちを作っていく必要があると思います。

**トラウデン** これからやってみたいこと、伝えたいことはありますか？

**青木** 長野市はもっと面白くなれるポテンシャルがあると思います。





メインは古着屋ですが、いろんな職業に軸足を置くのも多様的でSDGsでもあるなと思っています。

**菊地** 一つのコミュニティに縛られずに、長野市とかの場所も関係なく、やりたいことがあればそこに行って活動するというスタンスを続けていきたいです。

**市長** 若い方々にSNSを駆使していただいて、長野市にはこんないいところがあるよとか、若い方たちと一緒に元気なまちづくりをしているよというのを発信していただきたいと思います。

**茂木** 信州大学は全国的に有名で僕の尊敬する先生もたくさんいらっしゃるし、長野市には長野県立大学があって、こんないい大学なんだということもぜひアピールして欲しいと思いますね。

**菊地** 今日、皆さんにお伝えしたいことは「一番最初に始めなくても良い」ということです。私は誰かの後ろをついていくという立ち位置で、いろんなところに関わっていくスタイルに悩みや迷いがありました。そういう活動の仕方もアリだなと感じました。

**篠田** 若者が社会で何かをやりたと思った時、遠い先のことを目指したり、大きいことを言ってしまいがちですが、目の前のことや身近な人のことを大切に思って輪を広げていくことが大事なので、今ある輪を大事にしつつ、大きいことに向かっていけたらと思

ます。

**青木** SDGsは遠い世界の話ではなく、自分たちの生活のことだと思うので、自分の周りの生活や自分の心の動きをしっかりと捉えながらやっていけばいいと改めて認識できました。

**トラウデン** 自分自身が心地よくいられるかどうか?後ろめたい部分を持たずに居られるかどうか?それがSDGsには大事だと思うトークセッションでした。

**茂木** SDGsっていうのは多様性のことだと思うんです。だから、今日は本当に3人の個性あふれる方々にお目にかかれてうれしかったですし、個性が響きあう多様性というのが一番大事なんだと再認識しました。

**市長** 冒頭の挨拶で長野オリンピックのレガシーを受け継いでSDGs未来都市に選定されたというお話をさせていただきましたが、オリンピックの招致活動もオリンピックの成功も、やはり市民の皆様にあったチャレンジ精神の結果だと思います。今日は、まさにこの3人の方々がそれぞれのチャレンジ精神を紹介してくれました。とても参考になりました。皆さんありがとうございました。



## ～長野市SDGsフォーラムの様子が放送されます～

### IMAGINEZ大学 with Discovery 「クリエイターとその愉快的仲間たち」

【MC】茂木健一郎／トラウデン直美 【番組HP】 <https://www.discoveryjapan.jp/program/creators-and-their-merry-crew/>  
 トップクリエイターとその仲間たちが、次世代を担う若きクリエイターに発想の種などを紹介するクリエイター育成・発掘番組

放送日時

2022年12月16日(金) 午後8時～9時

(再放送 2022年12月18日(日) 午前7時～8時)

放送メディア

スカパー! cs340ディスカバリーチャンネル(および各ケーブルテレビ)

IMAGINEZ大学

with Discovery

あなたの近くの  
「SDGs活動」  
大募集!

SDGsの推進活動を  
展開する企業や事業所、  
学校などを  
募集しています!

お問い合わせ

長野地域連携中枢都市圏 事務局

(長野市企画政策部 企画課)

〒380-8512 長野市大字鶴賀緑町1613番地

Tel:026-224-5010 Fax:026-224-5103

●長野市ホームページ内 長野市企画政策部 企画課の「お問い合わせはこちら」  
 (Eメールアドレス kikaku@city.nagano.lg.jp)でも受け付けております。